

企画展

歴史と文化を救う

阪神淡路大震災からはじまった被災文化財の支援

2010年7月22日(木)~9月28日(火) 国立民族学博物館 企画展示場 A
開館時間: 10:00~17:00 (入館は16:30まで) 休館日: 水曜日 (水曜日が祝日の場合は、翌日が休館)

観覧料: 一般420円(350円) 高校・大学生250円(200円) 小・中学生110円(90円)
()は、20名以上の団体料金、大学等*の授業でご利用の方、授業レポート等の作成を目的とする高校生、3ヶ月以内のリピーター、満65歳以上の方の割引料金(要証明書) *大学等は、短大、大学、大学院、専修学校の専門課程

無料観覧日: 9月20日(月・祝)
※自然文化園(有料区域)を通過してもらえる場合、自然文化園各ゲート脇の券売機で当館(国立民族学博物館)の観覧券をお買い求めください。同園内を無料で通行できます。

※障害者手帳をお持ちの方は、付添者1名とともに無料で観覧できます。
また、毎週土曜日は、小学生・中学生・高校生は無料で観覧できます。ただし、自然文化園を通行される場合は、同園の入園料が別途必要です。

- 主催 国立民族学博物館
- 協力 九州国立博物館
十日町情報館
長岡市立科学博物館
新潟県立歴史博物館
能登中居博物館
兵庫県立歴史博物館
- 後援 文化財保存修復学会

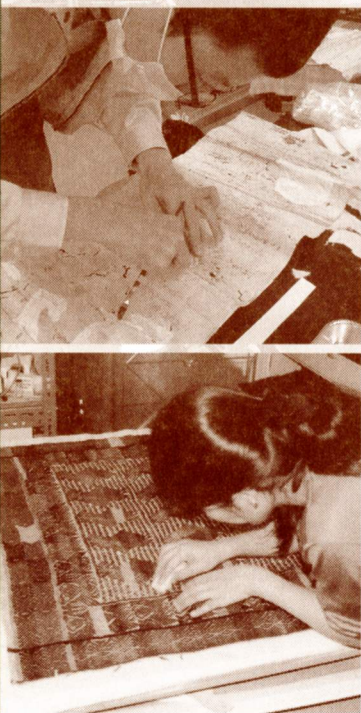
歴史と文化を救う

阪神淡路大震災からはじまった被災文化財の支援

地震や水害などの災害において、被災した文化財を支援する活動があることをご存知でしょうか。

人命救助や被災者の生活復興などの支援が優先されることはいうまでもありませんが、地域の歴史や文化の記憶をとどめた文化財も、かけがえのないものです。被災した文化財を救出し、あるべき姿にもどして次世代へ引き継いでいくことは、復興へと向かう人々の心の支えとなります。

本企画展では、様々な災害における支援活動の過程を、実際に被災した文化財とともにふりかえります。研究者や専門家による的確な応急措置や修復技術が示されます。また、ボランティア活動を通じて地元の文化を再認識し、人々が元気をとりもどしていく様子もみてとることができます。そして、これまでの事例をもとに、今後の災害に備えるさまざまな取り組みも紹介します。



2010年 8月7日(土) 14:00～15:00 友の会講演会 第386回

「被災した文化財が語りかける歴史と文化の記憶」 講師：日高真吾(本館准教授) 場所：本館2階 第5セミナー室

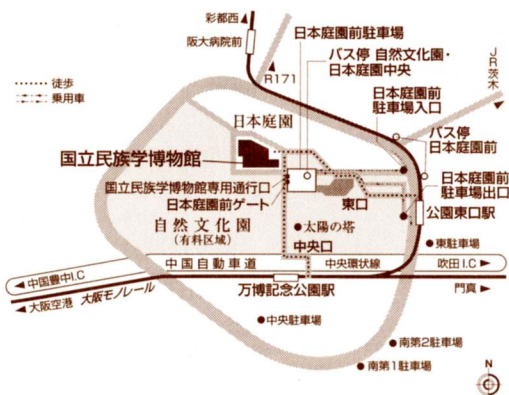
2010年 8月15日(日) 14:30～15:30 みんなくウィークエンド・サロン — 研究者と話そう

「被災文化財を救う」 講師：日高真吾(本館准教授) 場所：企画展示場 A

2010年 9月11日(土) 13:00～16:30 文化財保存修復学会シンポジウム 「文化財をまもる」 場所：本館講堂

交通のご案内

* 国立民族学博物館(みんなく)は大阪・千里の万博記念公園内にあります。「みんなく」とは大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国立民族学博物館の愛称です。



大阪モノレール

「万博記念公園駅」下車 徒歩約15分
(展示場をご覧になる方は、みんなくの観覧券をゲートにてお買い求めになれば無料で通行できます。)
「公園東口駅」下車 徒歩約15分 (「公園東口駅」からは自然文化園を通行せずに来館できます。)

バス

〔近鉄バス〕(阪大本部前行き) 阪急茨木市駅から約20分 JR茨木駅から約10分
「日本庭園前」下車、徒歩約15分
〔阪急バス〕(万博記念公園駅経由千里中央行き) 阪急茨木市駅から約20分、
JR茨木駅から約10分 「自然文化園・日本庭園中央」下車、徒歩約5分

タクシー

万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れることができます。下車、徒歩約5分

自動車

駐車施設が無い「みんなく」への車の乗り入れはできません。
万博記念公園の駐車場(有料)をご利用願います。
最寄り「日本庭園前駐車場」から 徒歩約5分

*「日本庭園前駐車場」をご利用の方は、「日本庭園前ゲート」横にある国立民族学博物館専用通行口をお通りください。

国立民族学博物館